



# 科学の眼

まなこ

発行:姫路科学館 (〒671-2222 姫路市青山 1470-15 電話:079-267-3961)

<https://www.city.himeji.lg.jp/atom/>

## 生物シリーズ

2020年度の野鳥観察記録

### 科学館周辺の野鳥

Wild birds around Himeji City Science Museum

姫路科学館 専門員 森田 俊司

姫路科学館は雑木林や竹林に囲まれ、農業用ため池の上池が隣接しています。2019年度に引き続き2020年度も科学館周辺の野鳥の観察調査を行い、77種を記録しました(外来種を含む)。なお、早朝と夜間の調査は実施していません。

#### ■姫路科学館周辺で確認した野鳥

※ 留：1年を通して見られる /夏：春から夏、初秋まで見られる /冬：秋から冬、初春まで見られる  
/旅：春と秋の渡りの一時期に見られる /外：外来種 /●：2020年度に新しく確認した種

	科名	種名		16	ウ科	カワウ	留
1	カモ科	オシドリ	冬	17	サギ科	アオサギ	留
2		●オカヨシガモ	冬	18		ダイサギ	留
3		ヨシガモ	冬	19	クイナ科	オオバン	冬
4		●ヒドリガモ	冬	20	カッコウ科	ホトトギス	夏
5		マガモ	冬	21	チドリ科	●イカルチドリ	留
6		カルガモ	留	22		●コチドリ	夏
7		●ハシビロガモ	冬	23	シギ科	●タシギ	冬
8		●トモエガモ	冬	24		●イソシギ	留
9		コガモ	冬	25	ミサゴ科	ミサゴ	留
10		ホシハジロ	冬	26	タカ科	ハチクマ	旅
11		ミコアイサ	冬	27		トビ	留
12		●カワアイサ	冬	28		ハイタカ	冬
13	カイツブリ科	カイツブリ	留	29		オオタカ	冬
14		●カンムリカイツブリ	冬	30		サシバ	旅
15	ハト科	キジバト	留	31	ノスリ	冬	

32	カワセミ科	カワセミ	留	55	ヒタキ科	シロハラ	冬
33	キツツキ科	コゲラ	留	56		ツグミ	冬
34		アオゲラ	留	57		ルリビタキ	冬
35	サンショウクイ科	サンショウクイ	留	58		ジョウビタキ	冬
36	カササギヒタキ科	サンコウチョウ	夏	59		●ノビタキ	旅
37	モズ科	モズ	留	60		イソヒヨドリ	留
38	カラス科	ハシボソガラス	留	61		●サメビタキ	旅
39		ハシブトガラス	留	62		●コサメビタキ	夏
40	シジュウカラ科	ヤマガラ	留	63		キビタキ	夏
41		シジュウカラ	留	64		オオルリ	夏
42	ツバメ科	ツバメ	夏	65		スズメ科	スズメ
43		コシアカツバメ	夏	66	セキレイ科	キセキレイ	留
44		イワツバメ	夏	67		ハクセキレイ	留
45	ヒヨドリ科	ヒヨドリ	留	68	セグロセキレイ	留	
46	ウグイス科	ウグイス	留	69	アトリ科	アトリ	冬
47	エナガ科	エナガ	留	70		カワラヒワ	留
48	ムシクイ科	メボソムシクイ	旅	71		●マヒワ	冬
49		●エゾムシクイ	旅	72		ベニマシコ	冬
50		センダイムシクイ	夏	73		シメ	冬
51	メジロ科	メジロ	留	74		イカル	留
52	セッカ科	●セッカ	留	75	ホオジロ科	ホオジロ	留
53	レンジャク科	キレンジャク	冬	76		アオジ	冬
54		ヒレンジャク	冬	77	キジ科	コジュケイ	外

○調査期間 2020年4月～2021年3月（1年間）

○調査方法 姫路科学館～青山小学校までの道路を歩いて往復し、確認できた野鳥を記録。

### ○調査結果

2019年度と比較すると新しく16種を確認しましたが、14種は見られませんでした（科学の眼 No. 553 参照）。その結果、2年間で91種を記録しました。特に台風の上陸がなかった影響で、上池の水位が低い状態が続いて陸地が現れたため、水辺にすむシギやチドリが飛来しました。また、小さな草むらで渡り途中のノビタキが虫を取っていました。自分の好む環境をうまく見つけて活動する彼らの能力に驚かされます。野鳥たちを観察していると日々、何かしら小さな発見があります。身近な生きものを通して自然に触れ合うことで環境の変化を知ることができます。



上池のコチドリ(2021年3月撮影)